

新幹線関連整備・開業効果特別委員会 報告

1. 委員構成

委員長：辰川 志郎

副委員長：荒谷 啓一

委員：中川 敬雄、中谷 喜英、林 直史、林 茂信、林 俊昭、川下 勉

2. 調査目的

北陸新幹線延伸開業に伴う都市整備及び開業効果の促進に関する調査・研究

3. 調査期間

令和5年10月30日～令和6年9月25日

4. 委員会開催状況

	委員会	委員協議会
令和5年	2回	0回
令和6年	5回	1回
合計	7回	1回



▲委員会の様子

5. 協議・報告事項件数

	委員会	委員協議会
令和5年	2件	0件
令和6年	6件	1件
合計	8件	1件

6. 調査の結果

令和6年3月16日の北陸新幹線加賀温泉駅開業によるにぎわい創出や利便性向上を図るため、駅周辺施設の整備や開業効果に関する事項について調査・研究を行ってきた。

委員会では、当局から、加賀温泉駅周辺施設整備等について報告を受け、オープン予定のにぎわい交流施設や全天候型広場施設ガレリアが市の玄関口にふさわしい魅力ある施設となるよう検討することや、工事中の駅前広場の利便性向上について、当局に対し求めてきた。

また、開業効果については、当局から、観光入り込み客数はコロナ禍前を下回っており、令和6年能登半島地震による旅行控えや、関西・中京圏からは乗り換えが必要となったことが要因として考えられるとの報告を受け、100年に一度とも言われる契機を逃さないような取組を当局に対し求めたところである。

令和8年3月に予定されている加賀温泉駅前広場のグランドオープンに向け工事が計画通り進むのか、また、開業効果を最大限に引き出すための取組が行われていくのか、今後も当局の対応を注視していく必要があるものと思われる。